

理念

私たちは、赤十字精神のもとに、子どもたちの最善の利益を守り、健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった保育看護を提供します。

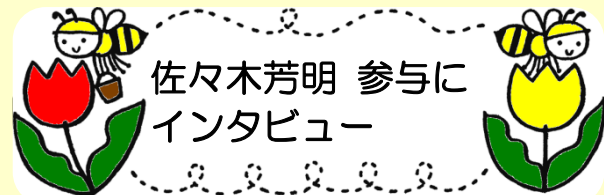


日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

# 秋田赤十字乳児院

広報誌 第33号

# よちよちちゃん



## 佐々木芳明 参与に インタビュー

乳児院の上部機関である日赤秋田県支部に入社以来33年勤務。その後血液センター勤務を経て現在、支部事務局次長として多忙な中、昨年より尽力頂いている佐々木参与。ある時はトレパン姿で炊き出し体験の準備をテキパキと取り仕切り…またある時はダンディーなスーツ姿で赤十字についての研修講師。透る声に惹きつけられます。

養育現場の印象は「ただ育てているだけではなく、子ども一人一人に対し丁寧な観察と細かい記録が取られている。ある意味母親以上に献身的に接している姿をみて、安心して預けられる感じがした。

乳児院は赤十字らしい職場で、赤十字精神で接している。皆ががんばっている姿を見て、関与して力になりたいと思った。」

「今後は事務部門の強化を図り、縁の下の力持ちとして、養育現場が働きやすいような環境作りを進めていきたい。」と決意を話してくれました。

プライベートについて何うと「ラーメンの食べ歩きが好き。

でも、体のことを考えると今春からは自転車通勤にしようかな。」自身の健康への決意も語ってくれました。



## ポルテがやってきたよ!

秋田トヨペット株式会社様より乗用車 1 台寄贈していただきました。贈呈式での同社三浦勝博特販部長の「使い勝手のいい車を選んだ。子どもたちのために活用してほしい」との言葉のとおり「子どもを抱いたままでも楽に乗り降りできる」「スライドドアが便利で使いやすい」と職員からも喜びの言葉が出ています。病院受診や訓練のための通院、そして院外保育と行動範囲が広がりそうです。



《贈呈式》 3月5日、三浦勝博特販部長より院長に鍵のレプリカが手渡されました。

## 赤十字キックタウン開催

～赤十字のお仕事体験してみませんか?～

5月24日(土)

秋田拠点センターアルヴェにて  
詳しくは「日本赤十字社秋田県支部」  
のホームページをご覧ください。



### 編集後記

プランターのビオラが咲きだすと思い出す事件がある。冬の間も土が乾きすぎないように大事に育てた秋植えのビオラ。やっとなつぼみが膨らんできたある日、プランターがすべて空っぽになっていた。元気、やる気の新人に「裏玄関の壊れたプランターの土、庭にまいて」と頼んだ私が悪かった。気づいた時、苗はカピカピ。怒りながら苗を植え直しする私に、平謝りする新人さん。失敗しながら成長していく新人。瀕死の状態から、咲き出した花たち。私は、育てるのが好きなんだ、成長を助けるために力を尽くすのが好きなんだ…人も植物も、と気づいた。ありがとう、新人さん。(田口)

■編集・発行 秋田赤十字乳児院  
〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町 100-3  
TEL 018-884-1760 FAX 018-884-1762  
電話相談 018-884-1761  
URL <http://www.akita.jrc.or.jp/nyujiin/>



## ひよこ組



ちびっこ大集合!!  
ひとりひとりの小さな成長をみんなの喜びにしよう!!

初めての誕生日を迎えた子どもが続々のひよこ組。名前を呼ぶと「は〜い」と手を挙げ、「いくつ?」と聞くと人差し指で一才をアピールします。

はいはいでお部屋を動き回っていた子どもも「たっち! たっち!」「あんよ。ここまでおいで。」の励ましに応えるかのように一歩また一歩と歩みを進めます。

春を迎え、靴を履いてのお散歩デビューが今から楽しみです。(鈴木)

## ばんび組



「大好きなものを持ってきて〜」の声にそれぞれのお気に入りの品を持って集合です。

支援が必要な子どもが多い組でした。問題がおこるたび、みんなで話し合い、支えあって、大きく成長できたと思います。

何を訴えているのか分からず、困ったこともありました。今は、お話やジェスチャーで気持ちが通じ合えます。

みんなトイレトレーニングが大好きで、いつまでも座っていたいようです(笑)でも、ちゃんとおしっこ・うんちもできるようになりましたよ。(石川)

昨年度のクラスで一年間を振り返りました。



新しい仲間  
スタート!!

## ぱんだ組

昨年の4月はまだよちよち歩きだったぱんだ組さん。探索活動真っ盛りで、一人がテーブルに上ると、次から次へ…一人が引き出しを開けると、次から次へ…まるで4つ子ちゃんのように同じ事を繰り返す子どもたち。叱ってみたり、ほめたり、すかしたり私たちにも忍耐力が必要だったなあ。それでも小さな成長を見つけると、みんなで大喜び笑い声が絶えないクラスでした。

3月、「お外にいくよー」の一声に自分で靴下をはいて、ジャンパーをゆびさし、靴を履いてお散歩へ…一生懸命歩く姿を見てしみじみ、成長したなあと感じます。いたずらもさらにパワーアップしてますが…(正田)



「写真撮るよ〜」カメラに向かってポーズ。みんなが揃うのがなかなか難しいですね。

## ことい組

子どもたちが安心して過ごせる様にと、密なケアを行ってきた一年間。一人ひとりが思う存分自己表現をし(時には元気過ぎる事もありましたが…)いつも賑やかで元気一杯のクラスになりました。

初めは“個”だった子どもたちが、今では共に遊び、思いやり助け合ったりする姿を見せてくれる様になり、成長したなあとしみじみ感じています。

リーダー的存在のNちゃんの巣立ちの際には見送る側にも涙が見られましたが、それも新たな成長への一歩かな。(田澤)



男の子4人に囲まれ女の子はひとり。元気一杯、おしゃべり上手な5人組で〜。